

令和8年度 年間指導計画

A科:生物科学科 B科:環境科学科 C科:食農科学科

教科名	農業	科目名	総合実習	単位数	2	履修学年・クラス	1A
担当者		使用教材		なし			
学習目標	○農業の体験的な学習を通して、総合的な知識と技術を習得する。 ○経営と管理について理解を深め、企画力や管理能力などを身につける。 ○農業の改善を図る実践的な能力と態度を育てる。						
学習方法	○園芸の様々な栽培・培養をおこない、草花・バイオテクノロジーの基礎的知識と技術の習得をおこなう。 ○作物(水稲)の実習を通して、基礎的知識と技術の習得をおこなう。 ○畜産の実習を通して、和牛飼育の基礎的知識と技術の習得をおこなう。 ○果樹栽培を通して、りんご栽培の基本的な知識と技術の習得をおこなう。						
学習評価	評価の観点		科目の評価の観点の趣旨				
	知	知識・技術	農業の各分野について体系的・系統的に理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。				
	思	思考・判断・表現	農業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。				
	態	主体的に取り組む態度	よりよい社会の構築をめざして自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。				
※定期考査については、上記の観点それぞれについて学習内容に応じて適切に配分しています。							

学期	単元(題材)	学習内容	評価の観点			単元(題材)の評価規準	評価方法
			知	思	態		
前 期 中 間	オリエンテーション		○	○	○	[知]農業に関する基礎的な知識と技術を身に付け、理解している。 [思]体験的な学習の中で、農業に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、その過程や結果を適切に判断している。 [態]農業に興味・関心を持ち、その役割について理解しようと意欲的に取り組んでいる。	・授業観察 ・実習記録 ・器具等取扱 ・考査なし
	・園芸(草花・バイオ)、果樹、作物(水稲)、畜産の各分野でのローテーション学習	・園芸(草花・バイオ)、果樹、作物(水稲)、畜産の各分野でのローテーション実習による農業の総合的学習	○	○	○		
前 期 末	・園芸(草花・バイオ)、果樹、作物(水稲)、畜産の各分野でのローテーション学習	・園芸(草花・バイオ)、果樹、作物(水稲)、畜産の各分野でのローテーション実習による農業の総合的学習	○	○	○	[知]農業に関する基礎的な知識と技術を身に付け、理解している。 [思]体験的な学習の中で、農業に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、その過程や結果を適切に判断している。 [態]農業に興味・関心を持ち、その役割について理解しようと意欲的に取り組んでいる。	・授業観察 ・実習記録 ・器具等取扱 ・考査なし
			○	○	○		
後 期 中 間	・園芸(草花・バイオ)、果樹、作物(水稲)、畜産の各分野でのローテーション学習	・園芸(草花・バイオ)、果樹、作物(水稲)、畜産の各分野でのローテーション実習による農業の総合的学習	○	○	○	[知]農業に関する基礎的な知識と技術を身に付け、理解している。 [思]体験的な学習の中で、農業に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、その過程や結果を適切に判断している。 [態]農業に興味・関心を持ち、その役割について理解しようと意欲的に取り組んでいる。	・授業観察 ・実習記録 ・器具等取扱 ・考査なし
			○	○	○		
後 期 末	・園芸(草花・バイオ)、果樹、作物(水稲)、畜産の各分野でのローテーション学習	・園芸(草花・バイオ)、果樹、作物(水稲)、畜産の各分野でのローテーション実習による農業の総合的学習	○	○	○	[知]農業に関する基礎的な知識と技術を身に付け、理解している。 [思]体験的な学習の中で、農業に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、その過程や結果を適切に判断している。 [態]農業に興味・関心を持ち、その役割について理解しようと意欲的に取り組んでいる。	・授業観察 ・実習記録 ・器具等取扱 ・考査なし
			○	○	○		